

プロフィール

氏名	ふるかわ あきら		
	古川 彰		
所属	社会学部社会学科	職名	教授
学位	博士（農学）	専攻	
所属学会	日本社会学会、日本民俗学会、村落社会学会、環境社会学会ほか		
学内職歴			
研究分野	人びとと自然との関わりとその変遷の過程を、人の暮らしの側から分析している。主に日本を含むアジアにおいて河川・湖沼・森林の利用に焦点をあててフィールドワークを続けると共に、日本の村に残された文書をとおして自然利用の社会史を描きつつある。人びとと自然との関わりの過程で生み出される認識、振る舞い、技術、規範、制度、祭祀、さらに豊穣、災害、争い・・・、そのように書けば、そもそも人と自然とは同じ概念のなかに包括される実体である。そのような意味において、社会史と自然史を繋ぐようななかたちでエスノグラフィーを書きつづけている。		

この研究業績等の一覧は、主要研究業績を除き本年度を含み過去5年度分を表示しています。

主要研究業績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
<2006年度>			
著書			
単	Village Life in Modern Japan & #8722;An Environmental Perspective	Trans Pasific Press., 304	2007. 03

<2004年度>

論文

単	生活知のくり出し方－「村の日記」のなかの調査－	『先端社会研究』第2号, 237-267, 関西学院大学出版会	2005. 03
---	-------------------------	---------------------------------	----------

<2003年度>

著書

単	村の生活環境史	世界思想社, 320	2004. 03
---	---------	------------	----------

業績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
<2006年度>			
著書			
共	『Frontiers of Social Research-Japan and Beyond』（編著）	Trans Pasific Press., 351	2007. 03
論文			
単	流域圏環境化の時代	『水界と森界の変容と創造に関する比較環境人類学的研究』, 科学研究費中間報告書, 基盤研究(B)代表: 松田素二 [2006-2007]	2007. 03

単	銚後の村の記録—江州知内村「記録」1931-1946—	『二十世紀における「負」の遺産の総合的研究—太平洋戦争の社会学—』, 科学研究費中間報告書, 基盤研究(B)代表: 萩野昌弘 [2005-2007]	2007. 03
単	定住者の知と交流の論理—愛知県矢作川の事例から	『社会学年報』36, 東北社会学会, 7-29	2007. 03
単	グリーン・ツーリズム	『環境政策の基礎知識』, 環境経済・政策学会編, 有斐閣	2006. 07

<2005年度>

著書

単	環境化と流域社会の変容	『生活世界の環境倫理と環境政策に関する人類学的研究』, 科学研究費報告書、基盤研究(B)代表: 松田 素二 [2003-2005]	2006. 03
---	-------------	---	----------

論文

単	村の災害と無事	『環境保全における地域システムの役割』, 科学研究費報告書, 基盤研究(B)代表: 嘉田 由紀子 [2002-2005]	2006. 03
共	日記萬覚一知内「記録」関連文書一八二〇年—	『社会学部紀要』100, 関西学院大学, 共著(鎌谷 かおる、古川 彰、伊藤 康宏), 1-17	2006. 03

<2004年度>

論文

単	『環境保全におけるローカルな知の伝承に関する研究』	科学研究費報告書, 基盤研究(C) : 代表: 古川彰 [2002-2004]	2005. 03
単	環境化と流域社会の変容—愛知県矢作川の河川保全運動を事例に	『林業経済研究』51巻1号, 林業経済学会, 39-50	2005. 03
共	村の日記—江州知内村「記録」(十四)一八五八～一八六八—	『社会学部紀要』、98、関西学院大学, 共著(古川 彰・伊藤 康宏・鎌谷 かおる, 1-15	2005. 03
単	カトマンズ盆地の伝統的水利用の変化と水問題	『景観の変化から探る世界の水辺環境の長期トレンドに関する環境社会学的研究』, 環境省研究推進費報告書(代表: 嘉田由紀子) [2002-2004]	2005. 03
単	ヒマラヤから矢作川へ一半栽培とやわらかな自然とのかかわり	『季刊民族学』29巻1号(通号111号), 国立民族学博物館, 監修/千里文化財団, 27-34	2005. 01

<2003年度>

著書

単	村の生活環境史	世界思想社, 320	2004. 03
単	村の日記—江州知内村「記録」(十三)1833～1857—	『社会学部紀要』, 97, 関西学院大学, 1-31	2004. 03
共	環境漁協宣言—矢作川漁協100年史(監修)	風媒社	2003. 12
共	観光と環境の社会学(松田素二との共編著)	新曜社	2003. 08
共	水をめぐる人と自然—日本と世界の現場から(嘉田由紀子編)	有斐閣	2003. 05

その他の活動

活動内容	発行／活動年月
------	---------